

令和元年度 ゆずり葉こども園 事業報告

1. 概要

①運営方針

- 他市からの流入児童も多く、一人親家庭、低所得の家庭も目立ちます。子育てに不器用な保護者も多く、子育て環境としては厳しい地域です。開園当初は子どもの声が異常に大きく、多動な子どもが目立ちました。子どもや保護者に園内利用のルールを伝え、社会で過ごすあり方を理解していただくように努めていますが、まだ課題が残ります。
- 昨年度は105名での運営でしたが、3歳児が定員割れになりました。年度途中での入園もありましたが、定員を満たす事が出来ませんでした。
- 法人理念に基づき、保育・教育の充実を図り、白鳩会の保育を継承し、利用者に「見える保育」に努めました。

②定員 102名

1号認定児 2名 2号認定児 61名 3号認定児 39名

③事業日数 292日（日曜、祝日12月29日から1月3日を休園とします）

④開園時間 平日・土曜日 7:30～19:00

⑤保育時間 ★2号・3号認定児

平日・土曜日	早朝保育	7:30～8:30
	通常保育	8:30～16:30
	延長保育	保育短時間児 16:30～19:00
		保育標準時間児 18:30～19:00

★1号認定児

平日	早朝保育	7:30～8:30
	通常保育	8:30～13:30
	延長保育	13:30～19:00

⑥職員数 園長1名、主幹保育教諭2名 保育教諭11名（非常勤8名）、看護師1名
学校内科医1名（年2回検診実施）・学校歯科医1名（年1回検診実施）
学校薬剤師1名（年2回検査実施）給食委託業者（派遣調理員4名）

2. 教育・保育運営

①教育・保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長する事が望ましいと考えます。
- 私たちは子どもの個性、人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発

達の援助を行います。

②教育・保育方針

- 社会福祉法人 白鳩会 保育メソッド・1日の保育の流れを中心に、子ども達が生き生きと生活・活動ができる環境を整え、事故を十分発揮し、人として「生きる力」を育む。
- 在園児および地域の子育ての支援を行う。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

③教育・保育目標

- 乳幼児の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判断、決定、言語理解など）と、非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。
- 「全体的な計画」を作成し、年間指導カリキュラム、月案に基づき、乳幼児の保育を行う。

④クラス編成及び職員配置

0歳児 ひよこ組	9名	保育教諭2名、看護師1名
1歳児 あひる組	12名	保育教諭2名
2歳児 もも組	18名	保育教諭3名
3歳児 あか組	19名	(1号認定児1名) 保育教諭2名 (うち障がい児加配1名)
4歳児 き組	24名	(1号認定児1名) 保育教諭2名 (うち障がい児加配1名)
5歳児 あお組	19名	(1号認定児1名) 保育教諭2名 (うち障がい児加配1名)
合計園児数	102名	(1号認定児3名) 保育教諭13名

主幹保育教諭	2名
障がい児加配保育教諭	2名、非常勤職員1名
延長保育担当者	2名
保育補助	2名

⑤教育・保育目標

- 各家庭に「早寝、早起き、朝ごはん」をおたよりや懇談会で伝えていますが、しっかりと食べて来ない子もいます。登園時間については一部を除き、時間を守って登園させてくれるようになりました。
- 登園後に実施する「朝の意味ある運動」を継続的に取り組んでいます。初年度は運動や遊びの中で転ぶ子が多かったですが、転ぶ事が少なくなりました。転んでも手が付けるように、食事の時には手を添えるなど、日頃から両手を使うことを意識して取り組みました。
- 運動をすることで給食をしっかりと食べるようになり、今までの偏食や食事のマナーが改善されました。
- 乳児保育に重点を置き、担任との愛着関係を築き、丁寧に関わる事で子どもの気持ちが安定し、落ち着いて活動ができるようになり、保護者の理解も深まったと思います。

- 週1回のリトミックでは、ピアノのリズムや音楽に合わせて動く事で、全身の発達を促し、集中力や瞬発力、即時反応を高めていけるように取り組みました。
- 外部講師による体育指導や、音楽指導では、身体を動かす楽しさを味わったり、課題に挑戦したり、技術を習得し達成感を味わってきたことは、子どもの自己肯定感の芽生えに繋がったと思います。基本的な生活習慣が定着する発展途上にありますが、今後も成功体験を積み重ね、積極的に物事に取り組めるようにしていきます。

⑥家庭との連携

- クラス懇談会（年2回）、個人懇談会（年1回）、保育参観（年2回）を行い、子どもたちの1日の様子を映像や資料を用いて伝える事で、保育の「見える化」に努め、保育に対する理解と信頼を得る事が出来ました。
- 様々な家庭環境や保護者の育児に対する未熟さにより、落ち着かない子どもや、気になる子供が多くいますが、保護者に対しての助言や相談、アドバイスが出来る事は保護者との良好な信頼関係が築けるため、保育教諭の専門性を高めていく事を課題としました。
- 保護者の子どもに対するネグレクトや心身の虐待ケースがあり、子育て世代包括支援センターや、中央こども家庭センター等、関係機関とも連携し、問題を抱える家庭への支援を行いました。

⑦人材育成

- 白鳩会の「1日の保育の流れ」のマニュアルを再度見直す為、法人内で1年間かけて勉強会を行い、勉強会の中で感じた事や、自分の意見を語るという事に学びがありました。同時に新年度に向けて、自園の1日の流れの見直しをしました。次年度の課題として残っていますが、少しずつ職員間で保育の在り方や考え方が共感できるようになってきています。
- 理念に基づく教育・保育の徹底した保育を行うために、個別の研修計画に沿った研修に参加し、教育・保育の質の向上を目指しました。
- 園内で核となる職員が、法人の理念に基づく研修として、仁愛保育園の見学を通して、乳児期からの人間形成には愛情と躰が大切であるという事を再度学びました。その後、本園での研修で、子どもの自立のための保育の見直しや、子どもへの関わり方をクラスに入って見せてもらう事で「今の現状の子どもを変える」という保育を肌で感じました。リーダーを中心に勉強会を重ね、リーダーから他の保育士に伝えるという形で、職員が同じ方向で教育・保育が出来るように取り組めるようにしています。
- ドキュメンテーションを使って、日々の保育を保護者に伝えてきましたが、観察記録のようになっていることもありました。リーダー保育士だけでなく、他の保育士にもドキュメンテーションの在り方を伝え、ねらいに沿った記録になるように学び、見直しをしています。
- 自園の理念に沿った個別研修計画に基づき、園外（守口市こども部、私立認定こども園会、日本保育協会）、園内の研修に参加し、知識を深め教育・保育の質の向上に努めました。
- アートコーディネーターから造形の指導を受けたことを生かし、造形を得意とする保育士が中心となり、壁面や空間を装飾したり、他の保育士と一緒にすることで覚えていけるように継承しています。

⑧地域の実態に対応した事業

- ハロウィンの行事で、地域のデイサービスセンターに訪問し、利用者の方々と交流を行いました。
- 地域の民生委員、主任児童委員の方が、毎年近隣の保育園やこども園に手縫いの雑巾を贈呈していただきます。その他、園の行事の時、防犯として門の出入り口に立って下さり、子どもの安全に努めて下さっています。
- 年1回、5歳児は就学先の小学校に出かけ、1年生との交流を行いました。校内の見学や、交流することで小学校への期待を高めることができました。

⑨苦情解決

- 苦情解決の責任者を園長、苦情受付担当者を主幹保育教諭としています。
苦情解決システムについては、園のガイドブックやホームページ、ポスターの貼り出しなどで保護者に周知しました。転園、卒園後のご意見やご相談についても園長、主幹保育教諭、保育教諭、看護師などが相談窓口として受け付けました。昨年度までは気付いたことや、意見などは直接事務所に伝えにいられていましたが、担任に問い合わせられることが多くなりました。担任に直接問い合わせをすることは、お互いの関係性が深まり、信頼が得られるようになってきたように思います。

⑩リスクマネジメント

- 感染症や嘔吐処理に関する研修は看護師が中心となり、年間2回園内で研修を行いました。
職員全員が、白鳩チルドレンセンター東大阪で東消防署の方から救命救急（AEDの使い方等）の研修を受け、リスク防止に努めました。
- アレルギー事故に関する研修（エピペンの使用法、マニュアルの読み合わせ）は3月に、白鳩チルドレンセンター東大阪と合同で研修を行いました。
- 消防署や警察と連携しながら、総合災害訓練や、不審者対応講習を行い、緊急時に迅速に対応ができるように全職員で学びました。
- 大阪 880 万人訓練では、園から一番近い小学校に避難しました。年長児は小学生と一緒に地震や火災の体験をさせてもらいました。
- 定期的に備蓄品の確認を行い、保存切れの物は期限切れの前に給食やおやつとして提供し、再度購入を行いました。
- 守口市の教育・保育施設に爆破物をしかけたという事件があり、本園からの指示のもと、園児を安全な場所に避難させるということで、最寄り駅前のスーパーの方が臨機応変に対応して下さい、スーパーに緊急避難させてもらいました。
- 災害発生時は、モバイルメール配信システムを使い、保護者に連絡をしました。